

業務システム向け FAXサーバーソフト スターファクス サーバー エスディーケー



セットアップマニュアル

おことわり

- ・本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することは、法令に別段の定めがある場合を除き、固く禁じられています。
- ・本書の内容は、本製品の改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して制作しておりますが、万一わかりにくい点や記載漏れなどお気付きの点がございましたら、メガソフト株式会社サポートセンターまでご連絡ください（本書の内容と現実が異なるときは、現実が本書に優先します）。
- ・本製品を使用したことによるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品をご使用になるには、製品パッケージ同梱の「ソフトウェア使用許諾条項」にご同意いただくことが必要です。

商標について

- ・STARFAX はメガソフト株式会社の登録商標です。
- ・その他、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

本書は、STARFAX Server SDK のセットアップや基本設定、基本機能、扱うファイルについて解説しています。STARFAX Server SDK のセットアップを行うときにご利用ください。

STARFAX Server SDK に収録しているマニュアル一覧

・セットアップマニュアル（本書）

STARFAX Server SDK のセットアップ、環境設定や各種機能について説明しています。

STARFAX Server SDK をご使用の前に必ずご一読ください。

・ファイル de F A X

STARFAX Server SDK の FAX 送受信は、STARFAX Server SDK が定めた書式のファイルを所定のフォルダに作成することです。この仕組みを「ファイル de F A X」といいます。

「ファイル de F A X」で使用する各種ファイルの書式や、ファイルの取り扱いについて説明しています。

・VB（Visual Basic）開発向けマニュアル

Visual Basic を開発ツールとして、STARFAX Server SDK を利用するプログラムの作成の際には、以下のマニュアルをご参照ください。

- ・VB 開発向け OCX プログラミングマニュアル
- ・VB 開発向け OCX リファレンスマニュアル
- ・VB 開発向け プリンタドライバとビューア プログラミング&リファレンスマニュアル
- ・VB 開発向け クライアント送信プログラミングマニュアル

・VC（Visual C++）開発向けマニュアル

Visual C++ を開発ツールとして、STARFAX Server SDK を利用するプログラムの作成の際には、以下のマニュアルをご参照ください。

- ・VC 開発向け プログラミングマニュアル
- ・VC 開発向け プリンタドライバとビューア プログラミング&リファレンスマニュアル
- ・VC 開発向け クライアント送信プログラミングマニュアル

マニュアルでの表記

メニュー・設定項目などの表記

表記例	説明
「メニュー名」 「フォルダ名」 「ファイル名」	メニュー名やファイル名、フォルダ名は「」で囲んであります。
[OK]	ボタン名は [] で囲んであります。
①②③…	操作手順の順番を表します。

本書で使用するアイコン

アイコン	説明
 メモ	使用上の補足事項を説明しています。
 ▶	関連情報が掲載されているページを示しています。 マニュアル名がない場合は、本書内のページです。
 注意	使用にあたっての注意点を記載しています。

ご利用になる前に

機能と特徴

■ STARFAX Server SDKについて

「STARFAX Server SDK」は、動作の安定性、組み込みの容易さに定評のあった、発売中のパソコンファクスソフト「STARFAX Engine」で要望の多かった、より大規模な FAX サーバーシステムへの導入を受け、最大 16 回線に対応した、Windows 上のサービスとして稼働する FAX サーバーシステムです。

■最大 16 回線まで対応。大量送受信もスムーズです

STARFAX Server SDK は 4 回線を基本とし、ご利用環境に合わせて 4 回線単位で増設することができます。後から回線が増える場合、増えた分だけ増設ができ、最大 16 回線まで対応可能です。
8 回線以上をご利用の場合は、別途「回線増設オプション」をご利用ください。

 回線増設オプションについて、詳細は STARFAX Server SDK の製品ページをご参照ください。
<http://www.megasoft.co.jp/starfaxserversdk/price/>

■ファイル経由で FAX 送受信 —ファイル de FAX 機能—

ユーザーは、所定のフォルダに STARFAX Server SDK で定めた書式のファイルを置いたり、ファイルに情報を追加するだけで、FAX 送受信が行えます。STARFAX Server SDK では、この仕組みを「ファイル de FAX」といいます。

ユーザーのアプリケーションに組み込む際にも、フォルダとファイルを経由して STARFAX Server SDK をコントロール処理を組み込むだけなので、専用の開発言語は必要ありません。短期間に FAX システムの構築が可能です。

 「STARFAX Server SDK のしくみ」 P31
「ファイル de FAX」マニュアル

また、Visual C や Visual Basic からご利用いただける ActiveX コントロールも提供しております。

 「STARFAX Server SDK に収録しているマニュアル一覧」 P2



■外出先でも FAX 送受信 —メール de FAX 機能—

インターネットを利用できる環境であれば、メール機能を使用して FAX が送信できます。
受信ファクスのメール転送機能と併用すると、外出先でファクスの送受信が可能になります。

 これらの機能をご利用いただくためには、以下の設定が必要です。
[「メールサーバー設定」 P20](#)
[「クライアント送信」マニュアル P27](#)
[「受信 FAX をメール転送する」 P25](#)



■他の便利な機能

STARFAX Server SDK では、以下の機能を利用できます。

機能に合わせて設定を行なうだけで利用できるため、ユーザープログラムでの開発を必要としません。

●送受信 FAX の自動メール転送

送受信 FAX をあらかじめ登録しておいたメールアドレスへ転送することができます。

この機能を利用すると、社外にいても、FAX のやり取りを確認することもできるようになります。

→ 送受信 FAX の自動メール転送 P25

●受信 FAX の自動 FAX 転送

受信 FAX を別の FAX 番号へ転送することができます。

この機能を利用すると、本社で受けた FAX を支店に転送したり、お店で受けた FAX を自宅にも転送したりできます。

→ 受信 FAX の自動 FAX 転送 P26

●受信 FAX の自動印刷

受信した FAX を指定したプリンタから紙に印刷することができます。

→ 受信 FAX の自動印刷 P27

●受信 FAX の PDF 変換保存

受信した FAX 原稿を PDF ファイルに変換し、保存する機能です。

PDF ファイルで保存しておくと、誰でもいつでも受信 FAX の内容を確認することができ、また、管理もしやすくなります。

→ 受信 FAX の PDF 変換 & 保存 P28

ご利用前にご確認いただくこと

STARFAX Server SDKをご利用いただく前に、必ず以下をご確認ください。

- [1] 動作環境
- [2] FAX 送受信に関する仕様
- [3] STARFAX Server SDK を利用するためには必要なもの

[1] 動作環境

STARFAX Server SDKをインストールする前に、必ずお使いのパソコンの動作環境をご確認ください。



- ・対応 OS 以外では、インストールができても正常に動作しない場合があります。
- ・また、対象 OS 以外でのご利用の際に起こったトラブルに関しては、サポートをいたしかねます。

対応 OS	Windows Server 2008 / 2008 R2 (Standard Edition、Enterprise Edition) Windows Server 2003 / 2003 R2 (Standard Edition、Enterprise Edition) Windows 7 32 ビット / 64 ビット Windows Vista Service Pack 2 以上 32 ビット / 64 ビット Windows XP Service Pack 2 以上 32 ビット ※各日本語版に対応 ※ 64bitOS 上では、32bit アプリケーションとして動作
CPU	OS が推奨するプロセッサ以上
メモリ	OS が推奨するメモリ以上
ハードディスク	200MB 以上 ※運用時は蓄積する FAX 送受信原稿分（平均的な A4 サイズ原稿 1 ページで 80KB 程度）の空き容量が必要。
ネットワークアダプタ	100MbpsEthernet ネットワーク
FAX モデム	G3 規格に対応した FAX モデムが必要 ※多回線でご使用いただく場合は、ご使用いただく回線分の RS-232C 接続の FAX モデム、増設用ボードも必要。 ※ RS-232C 接続の FAX モデムをご使用いただく場合は、シリアル (COM) ポートが必要。 ※ FAX モデムのドライバーが使用パソコンの OS に対応していること。
FAX 回線	一般加入電話回線、IP 電話回線（光、ADSL）、ISDN 回線 ※一般電話機または FAX 機が利用できる回線
ディスプレイ	解像度 800 × 600 以上、65,536 色以上が必要
周辺機器など	CD-ROM ドライブ（セットアップ時）、マウス、キーボード
インターネット環境	以下の機能を利用する際に必要 ＜インストール・メンテナンス関連＞ プログラム更新／クライアントプログラムダウンロード ＜STARFAX Server SDK 本体機能＞ メール de FAX ／メール転送
制限事項	管理者（Administrator）権限が必要

[2] FAX 送受信に関する仕様

以下は STARFAX Server SDK がサポートしている FAX 送受信の規格などです。
※ STARFAX Server SDK は、FAX の規格にそって動作しています。

■ FAX 通信仕様

通信機能	G3 規格準拠
通信速度	14400 ~ 2400bps (G3)
モデム制御規格	Class 1
原稿解像度	ノーマル：200 × 100dpi ファイン：200 × 200dpi スーパーファイン：200 × 400dpi
FAX 通信時の圧縮方式	MH/MR/MMR
原稿作成時の圧縮方式	モノクロ時：PackBits
対応用紙サイズ	A3/B4/A4/B5/A5
制限事項	カラー FAX を利用する場合の制限は以下のとおりです。 • モデム制御規格：Class 1.0、Class 1 • 原稿解像度：ファインのみ • 原稿作成時の圧縮形式：JPEG • 対応用紙サイズ：A4

■ 入力形式

送信原稿のファイル形式	TIFF / BMP / PCX / DCX / JPEG / TXT
-------------	-------------------------------------

■ 出力形式

送信原稿のファイル形式	TIFF / JPEG / BMP / PDF / SFD(STARFAX 独自のファイル形式)
送受信データ(ログ)	CSV

[3] STARFAX Server SDK を使用するためには必要なもの

STARFAX Server SDK をご使用いただくためには、インストールするパソコンの他に、以下の機器が必要です。あらかじめご用意ください。

なお一部の機器は、ご利用前に専用のプログラム（ドライバー）をパソコンにインストールする必要があります。各機器に付属のマニュアルなどを参考にセットアップを済ませてください。

■ FAX モデム

パソコンで FAX 送受信を行うためには、ご利用の回線数に合わせて FAX モデムが必要です。
以下をご確認の上、回線数に合わせた FAX モデムをご用意ください。

- ・ご使用のパソコンの OS に対応していること

- ・モデム制御規格：Class1

- ・**1 回線でご利用の場合**

USB 接続タイプをご利用ください。

（接続が簡単なため、USB 接続タイプをお勧めします。）

- ・**2 回線以上でご利用の場合**

シリアル接続タイプをご利用ください。

（多回線で使用するときは、USB 接続タイプや内臓タイプはご利用になれません。

シリアル接続タイプを使用するためには、「増設用ボード」も必要です。合わせてご用意ください。）



- 注意**
- ・FAX モデムは、STARFAX Server SDK のセットアップを行う前に、お使いのパソコンに接続し、ドライバーをインストールしておいてください。
 - ・FAX モデムの接続方法やドライバーのインストール手順など FAX モデムのご使用方法については、FAX モデムの説明書をご覧の上、ご不明な点は製造元をご相談ください。

■ 秘話機能付き分配器

STARFAX Server SDK で使用する電話線を電話機や FAX 機（FAX 複合機）と併用して使用する場合は、その回線を 2 つに分ける「分配器」が必要です。

電話機や FAX 機からの割り込みやノイズを防止するために「秘話機能付き分配器」をご用意ください。



- 注意**
- 秘話機能付き分配器によっては、ナンバーディスプレイアダプタで送信元の FAX 番号（電話番号）などを受け取れないことがあります。
「ナンバーディスプレイオプション」をご利用の場合は、秘話機能付き分配器の製造元で使用可能かなどご確認ください。

セットアップする

セットアップ画面について

STARFAX Server SDK の使用方法により、必要なプログラムをセットアップします。
セットアップするプログラムは以下の 4 つです。

■必ずセットアップするもの

● STARFAX Server SDK の本体プログラム [セットアップ]

STARFAX Server SDK が動作するために必要なプログラムや、各種作業フォルダなどをセットアップします。
以下の項目がセットアップされます。

- ・すべてのサンプルプログラム
- ・各種セットアップマニュアル
- ・STARFAX Server SDK のビューア

■ご利用方法によってセットアップするもの

● STARFAX Server SDK のプリンタドライバ [プリンタドライバのセットアップ]

原稿を作成したアプリケーションの印刷機能を利用して、FAX 送信可能なファイル形式 (TIFF) に変換するプログラムです。

▶ 使用方法は、「プリンタドライバとビューア」マニュアル参照。

● STARFAX Server SDK のビューア [ビューアのセットアップ]

FAX 原稿ファイル閲覧用のアプリケーションです。

STARFAX 専用のファイル形式や、TIFF ファイル (拡張子「.tiff」「.tif」) を参照することができます。

STARFAX Server SDK をセットアップしていないパソコンでビューアが必要な場合に選択します。

●サンプルプログラムと ActiveX コントロール (クライアント端末用)[クライアント送信のサンプルと OCX のセットアップ]

STARFAX Server SDK 本体をセットアップしていないクライアント端末から、FAX 送信を行うサンプルプログラムと、その Visual Basic 開発向け OCX をセットアップします。

▼収録されているサンプルプログラム

- ・FAX 送信命令フォルダを共有して FAX 送信
- ・[メール de FAX で FAX 送信]

▶ 使用方法は、「VB 開発向け OCX プログラミング」マニュアル参照。

STARFAX Server SDK をセットアップする

STARFAX Server SDK をパソコンにセットアップします。



セットアップは、管理者権限 (Administrator) で行ってください。

- ① パソコンの DVD(CD) ドライブに STARFAX Server SDK の CD-ROM を挿入します。

「STARFAX Server SDK のセットアップ」画面が表示されます。



しばらく待ってもセットアップ画面が表示されないときは、
「マイコンピューター」から CD-ROM ドライブを開き、
「Autosel.exe」をダブルクリックします。

- ② [セットアップ] をクリックします。
 ③ 「STARFAX Server SDK のセットアップウィザードへようこそ」が表示されます。
 [次へ] をクリックして、セットアップを進めます。

- ④ 「ライセンスキー」画面が表示されます。

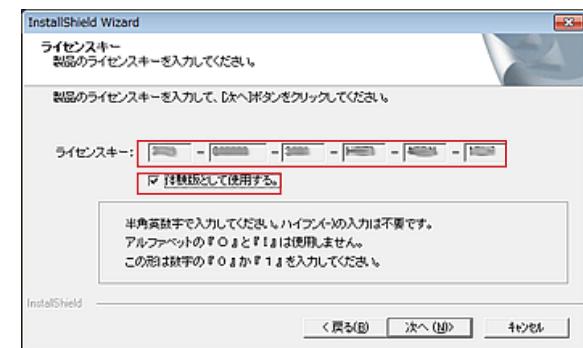
・製品版として使用する場合

ライセンスキーを入力します。

※ライセンスキーには英字の「O(オー)」と「I(アイ)」は使われていません。数字の「0(ゼロ)」と「1(イチ)」を使用します。

・体験版で使用する場合

「体験版として使用する」にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。



- ⑤ 「インストール先の選択」で、STARFAX Server SDK のプログラムをセットアップするフォルダを選択します。

デフォルトでは、以下のフォルダが指定されています。

変更する場合は、[参照] をクリックし、変更してください。

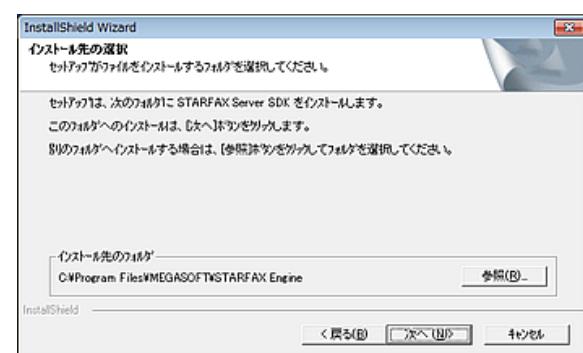
▼デフォルトの保存先

・32bit 版 OS :

C: ¥Program Files ¥MEGASOFT ¥STARFAX Engine

・64bit 版 OS

C: ¥Program Files (x86) ¥MEGASOFT ¥STARFAX Engine



- ⑥ セットアップする項目を選択します。

・STARFAX Server SDK ※チェックは外せません。

STARFAX Server SDK の本体プログラムです。

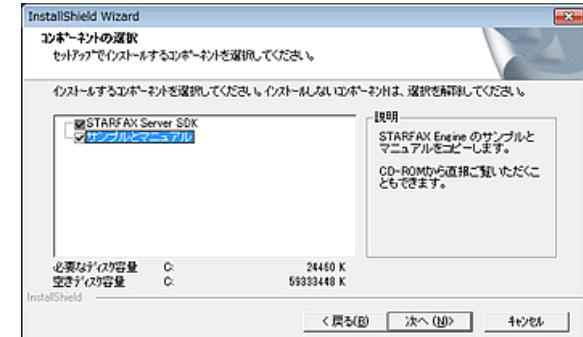
・サンプルとマニュアル

STARFAX Server SDK のすべてのサンプルプログラムと各種マニュアルをセットアップします。

※サンプルプログラムとマニュアルはセットアップディスクにも収録されていますので、セットアップディスクからコピーしてご利用いただくこともできます。

サンプルプログラム … 「サンプル」 フォルダ

STARFAX Server SDK のマニュアル … 「マニュアル」

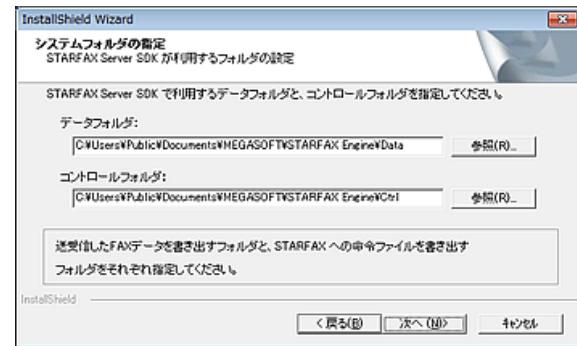


⑦ フォルダ STARFAX Server SDK で利用するフォルダの保存先を選択します。

ここで設定された各フォルダが、レジストリに登録されます。

「データフォルダ」と「コントロールフォルダ」は、セットアップ後に変更できます。

➡ フォルダの変更方法 「使用するフォルダを確認する」 P15
レジストリの確認 「レジストリ」 P41



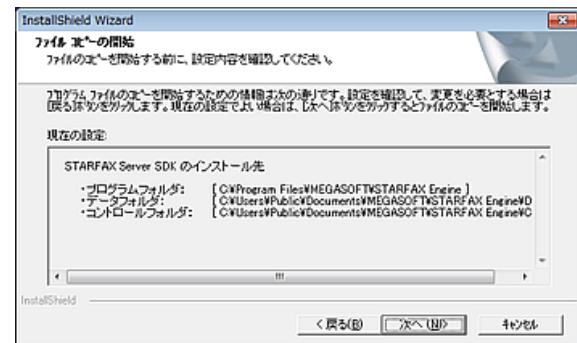
⑧ STARFAX Server SDK のビューアで開くファイルを設定します。

チェックをいれると、拡張子「.tif」「.tiff」のファイルを開くときに「ビューア」画面が起動します。

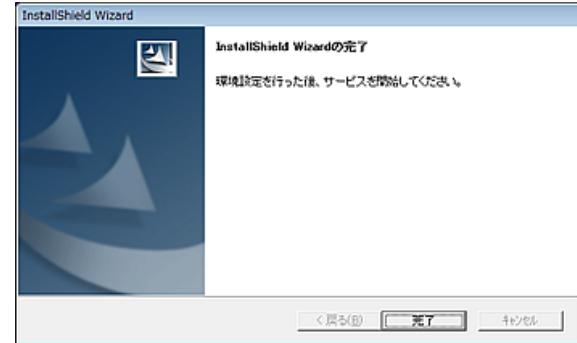


⑨ セットアップ内容の確認画面が表示されます。

指定した内容に誤りがなければ、[次へ] をクリックします。



⑩ [完了] をクリックして、セットアップを終了します。



プリンタ ドライバのセットアップ

FAX 原稿を作成したアプリケーションの印刷機能を利用して、FAX 送信可能なファイル形式（拡張子「.tif」「.tiff」）に変換するプログラム「プリンタ ドライバ」をインストールします。



セットアップは、管理者権限 (Administrator) で行ってください。

- ① パソコンの DVD(CD) ドライブに STARFAX Server SDK の CD-ROM を挿入します。

「STARFAX Server SDK のセットアップ」画面が表示されます。



しばらく待ってもセットアップ画面が開かないときは、「マイコンピューター」から CD-ROM ドライブを開き、「Autosel.exe」をダブルクリックします。

- ② [プリンタ ドライバのセットアップ] をクリックします。
- ③ [次へ] をクリックし、セットアップ ウィザードの指示にそって、セットアップを進めます。

- ④ 原稿の保存先の設定を行います。

デフォルトでは、以下のフォルダが指定されています。

変更する場合は、[参照] をクリックし、変更してください。

▼デフォルトの保存先

- 32bit 版 OS
C:\Program Files \MEGASOFT \STARFAX Engine
- 64bit 版 OS
C:\Program Files (x86) \MEGASOFT \STARFAX Engine



原稿の保存先は、セットアップ後、変更できます。

メモ ➔ 「レジストリ」 P41

- ⑤ プリンタ ドライバを使用した後に起動するプログラムと、引数（コマンドライン）を設定します。

変更する場合は [参照] をクリックし、変更してください。

・プログラム

プリンタ ドライバを使用して変換した FAX 原稿を渡す実行プログラムを指定します。

・引数（コマンドライン）

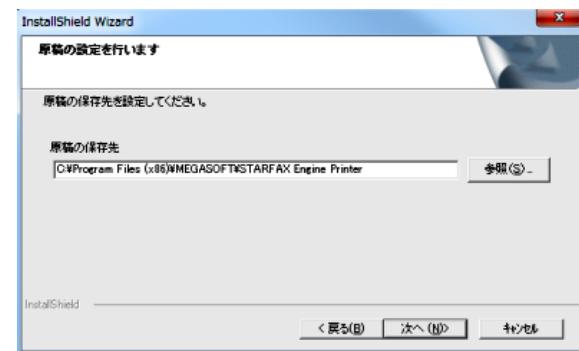
ユーザー プログラムからプリンタ ドライバを使用したときに、特定の引数（コマンドライン）を追加したい場合に指定します。

[次へ] をクリックし、セットアップを完了します。



使用方法は「プリンタ ドライバとビューア」マニュアル参照。

メモ



ビューアをセットアップする

STARFAX 専用のファイル形式や、TIFF ファイル（拡張子「.tiff」「.tif」）を参照することができる、FAX 原稿ファイル閲覧用のアプリケーションをセットアップします。



- ① パソコンの DVD(CD) ドライブに STARFAX Server SDK の CD-ROM を挿入します。
「STARFAX Server SDK のセットアップ」画面が表示されます。

メモ しばらく待ってもメニューが開かないときは、
「マイコンピューター」から CD-ROM ドライブを開き、
「Autosel.exe」をダブルクリックします。

- ② [ビューアのセットアップ] をクリックします。



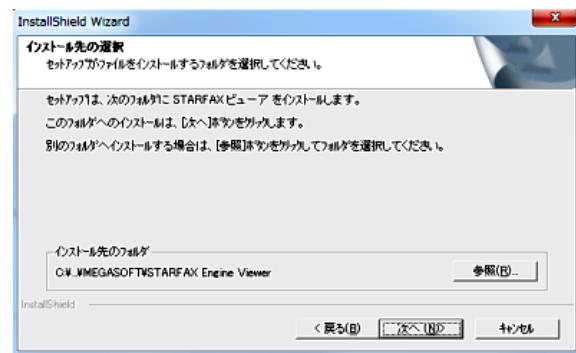
- ③ [次へ] をクリックし、セットアップウィザードの指示にそって、
セットアップを進めます。
デフォルトでは、以下のフォルダが指定されています。
変更する場合は、[参照] をクリックし、変更してください。

▼デフォルトの保存先

- ・ 32bit 版 OS
C:\Program Files\MEGASOFT\STARFAX Engine Viewer
- ・ 64bit 版 OS
C:\Program Files (x86)\MEGASOFT\STARFAX Engine Viewer

メモ ここで指定したフォルダは、セットアップ後、変更できません。

メモ ➔ 「送受信原稿の確認・編集を行う」P29



クライアント送信のサンプルと OCX のセットアップ

STARFAX Server SDK をセットアップしていないパソコン（クライアント）から FAX 送信を行うサンプルプログラムと、その Visual Basic 開発向け OCX(ActiveX コントロール)をセットアップします。

注意 STARFAX Server SDK 本体をセットアップしているパソコンには、セットアップできません。
セットアップは、管理者権限 (Administrator) で行ってください。

- ① パソコンの DVD(CD) ドライブに STARFAX Server SDK の CD-ROM を挿入します。

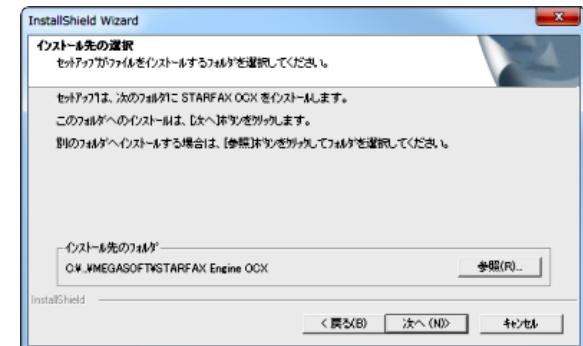
メモ しばらく待ってもメニューが開かないときは、
「マイコンピューター」から CD-ROM ドライブを開き、
「Autosel.exe」をダブルクリックします。

- ② [クライアント送信のサンプルと OCX] をクリックします。



- ③ [次へ] をクリックし、セットアップウィザードの指示にそって、
セットアップを進めます。

メモ → Visual Basic 開発向け「クライアント送信」マニュアル
Visual C 開発向け「クライアント送信」マニュアル



基本設定を行う

STARFAX Server SDK を使用する前に、ご利用になる機能に合わせて設定が必要です。

STARFAX サービスマネージャーを表示する

STARFAX Server SDK の各種設定は STARFAX サービスマネージャーから行います。STARFAX サービスマネージャーは、Windows の [スタート] から [すべてのプログラム]-[STARFAX Server SDK]-[サービススマネージャー] で表示できます。

STARFAX Server SDK のサービスがすでに動作しているときは、タスクトレイから STARFAX Server SDK のアイコンをダブルクリックすることで表示できます。



STARFAX サービスマネージャーの各種ボタンの説明



サービス開始 サービス停止	STARFAX Server SDK のサービスの開始、停止を行う際にクリックします。 サービスが開始しているときは「サービス動作中」 サービスが停止しているときは、「サービス停止中」の表示に切り替わります。
FAX モデム設定	※必ず設定してください。 回線ごとの FAX モデムの設定や送受信の設定を行います。
環境設定	「フォルダ」「自動削除」「通知」「オプション」の4つのタブで、それぞれ設定を行います。
ログ管理	FAX を送受信した結果や、未送信 FAX の確認をする、「ログ管理」画面を起動します。
メールサーバー設定	<ul style="list-style-type: none"> メール de FAX 機能や転送印刷設定などで使用するメールサーバーの設定を行います。 メール de FAX 機能や転送印刷設定を使用する場合は設定してください。
転送・印刷設定	送受信した FAX を自動印刷、指定したメールアドレスに転送、PDF に変換して指定フォルダに保存する場合は、ここで必要事項を設定します。
メール de FAX 設定	メール de FAX 機能を使用する場合は、メールアドレスの登録や、通知設定を行います。

使用するフォルダを確認する

STARFAX Server SDK が使用する各種フォルダは、セットアップ時に設定されます。
何らかの理由で変更したいときは、以下の手順で変更してください。

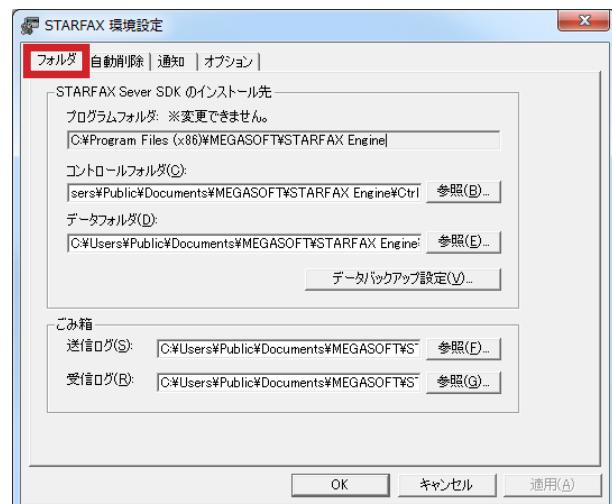
注意 STARFAX Server SDK の各種フォルダは、レジストリにも記録されています。フォルダ位置を移動するときは、レジストリ情報も一緒に更新するために、Windows のフォルダ操作ではなく、以下の手順で操作してください。
→「レジストリ」P41

- ① STARFAX サービスマネージャーの [環境設定] をクリックします。
「STARFAX 環境設定」が開きます。



- ② 「フォルダ」タブを開きます。
各フォルダは下表のとおりです。
- ③ フォルダ位置を変更したいときは、[参照] をクリックして、移動先のフォルダを指定します。
フォルダ変更後、必要があればこれまでのフォルダにあったファイルを新しいフォルダに移動してください。

注意 フォルダを変更しても、フォルダ内のファイルは移動しません。
必要なファイル（ログファイルなど）は移動してください。



<各フォルダとその内容>

プログラムフォルダ	STARFAX Server SDK のプログラムがセットアップされているフォルダです。 ※変更はできません
コントロールフォルダ	ユーザーが STARFAX Server SDK を制御するために使用するフォルダです。 各種命令ファイル、ログ情報のファイルが保存されます。
データフォルダ	送受信、未送信の FAX 原稿が保存されるフォルダです。
ごみ箱	送受信ログから削除された際に、削除されたログと FAX 原稿が格納されます。

データのバックアップ設定を行う

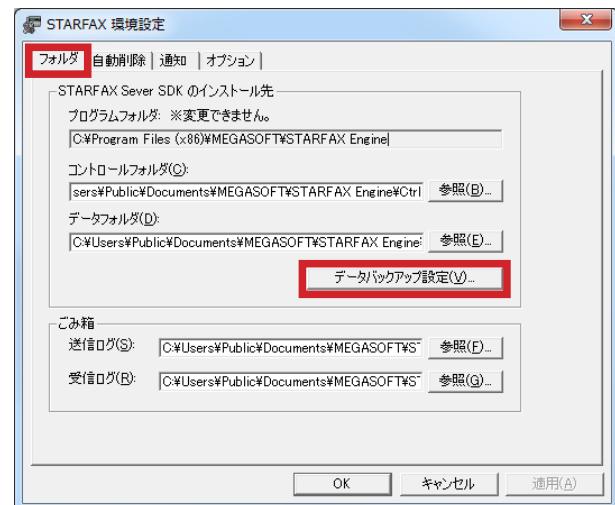
STARFAX Server SDK が使用する各種フォルダを指定したフォルダに保存することができます。
データのバックアップ設定を行います。

- ① STARFAX サービスマネージャーの [環境設定] をクリックします。
「STARFAX 環境設定」が開きます。

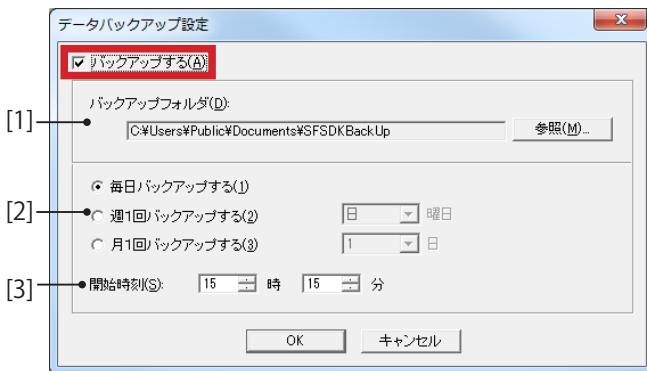
- ② 「フォルダ」タブを開きます。

- ③ [データバックアップ設定] をクリックします。

- ④ 「バックアップする」にチェックを入れます。



- ⑤ 以下画面の設定を行います。



[1] バックアップフォルダ	バックアップデータの保存先を指定します。 ネットワーク上のフォルダを指定する場合は、「ネットワークドライブ割り当て」を行った上で指定します。
[2] バックアップするサイクル	自動バックアップを行うサイクルを設定します。
[3] 開始時刻	自動バックアップを行う時間を指定します。

注意 「バックアップフォルダ」をネットワーク上に指定する場合、STARFAX Server SDK のサービスに管理者権限を追加する必要があります。

追加方法は以下を参照してください。

▼操作方法

- ① コントロールパネルを開き、「管理ツール」を選択します。
※カテゴリ表示の場合は「システムとセキュリティ」を選択し「管理ツール」を選択します
- ② 「サービス」を選択します。
- ③ サービス一覧から「MEGASOFT STARFAX Server Engine」を右クリックして「プロパティ」を選択します。
- ④ プロパティ画面の「ログオン」タブを開きます。
- ⑤ 「アカウント」にチェックを入れ、管理者 (Administrator 権限) のアカウント、パスワードを入力します

FAX モデムと、送受信のための設定

STARFAX Server SDK で使用するすべての FAX モデムと回線の設定を行います。
FAX モデムを接続し、ドライバーのインストールを行ってから以下の手順で設定してください。

メモ FAX モデムの接続方法、ドライバーのインストールについては、ご使用の FAX モデムの説明書をご参照ください。

- ① サービス動作中は、サービスを停止してください。
- ② STARFAX サービスマネージャの [FAX モデム設定] をクリックします。
「FAX モデム設定」が開きます。



- ③ 「FAX モデム設定」で、設定する回線を選択します。
- ④ [モデム設定] タブで、選択した回線で使用する FAX モデムを選択します。
- ⑤ [モデムテスト] をクリックして、FAX モデムのテストを行います。
FAX モデムが使用できる状態になっていると、右枠内に [テスト結果 = OK] と表示されます。

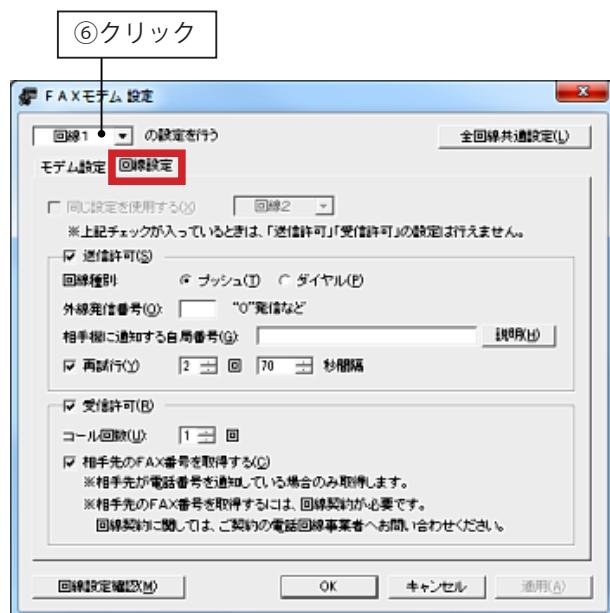
メモ

- ・すべての回線で同じ FAX モデムを使用している場合でも、すべての回線でモデムを選択し、モデムテストを行ってください。
- ・テスト結果が OK でない場合は、FAX モデムの説明書などを参考に接続状態やセットアップ状態などをご確認ください。



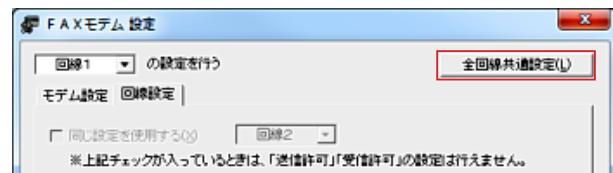
- ⑥ 続いて [回線設定] タブを開き、以下の表を参考に、③で選択した回線の送受信に関する設定を行います。

- ・「回線 1」は必ず設定してください。
- ・「回線 2」以降は、既に設定した回線と同じ設定を適用することができます。
- 「同じ設定を使用する」にチェックを付けて回線を選択してください。



送信許可	選択した回線で送信を行う場合にチェックをいれ、送信関連の項目を確認・設定してください。
回線種別	FAX モデムを接続した電話回線が「プッシュ式」か「ダイヤル式」かを、選択します。 ※回線種別はご利用の電話会社との契約書などでご確認ください。
外線発信番号	FAX を送信する際に、FAX 番号の前に入力する番号がある ("0" など) 場合にその番号を入力します。
相手機に通知する自局番号	FAX ID を設定します。設定した番号が相手先の FAX 機に通知されます。 ※ FAXID は、実際に使用した電話番号ではなく、FAX 機に設定される「ID」番号です。
再試行	送信エラーが発生したときの、再送信の回数と間隔を設定します。 ※デフォルトでは 2 回、70 秒間隔で設定されています。 ※最大値 回数：9 回 間隔：3600 秒 = 1 時間
受信許可	選択した回線で受信を行う場合にチェックをいれ、受信関連の項目を確認・設定してください。
コール回数	受信動作を開始するまでのコール回数を設定します。 ※デフォルトは「2 回」
相手先の FAX 番号を取得する	電話をかけてきた相手の電話番号を取得します。 ※相手先が電話番号を通知している場合に取得します。 ※相手先の FAX 番号を取得するには、回線契約が必要です。 回線契約に関しては、ご契約の電話回線事業者へお問い合わせください。

- ⑦ すべての回線の「モデム設定」「回線設定」が設定できたら、
[全回線共通設定]をクリックします。



- ⑧ 「全回線共通設定」で、下表を参考に各項目を確認・設定し、
[OK]をクリックして閉じます。

▲ すべての回線に適用される設定です。
注意 内容を確認して、必要があれば設定を変更してください。



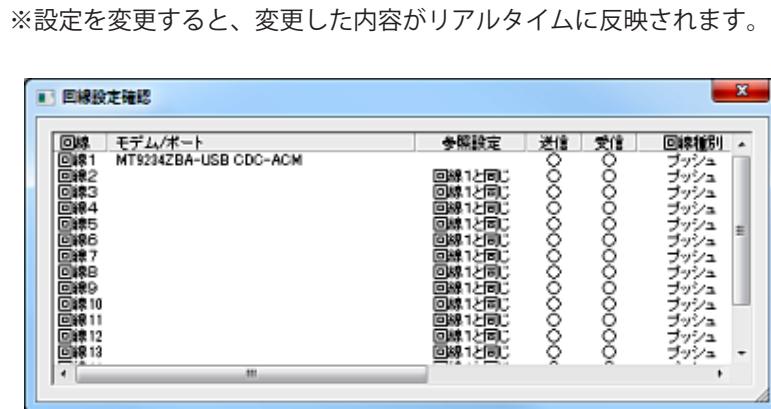
送信設定		FAX 送信の動作設定を行います。
同じ FAX 番号は同時に発信しない		複数の回線を使用しているときに、同じ FAX 番号に同時に発信しないようにします。
話し中検出		相手先の話し中の状態を検出します。 ※チェック有→検出する
発信音検出		受話器をあげた時の発信音を検出します。 ※チェック有→検出する

受信設定		FAX 受信の動作設定を行います。
一斉呼び出しを処理する		多回線で利用する際、使用する回線の電話番号がすべて同じ(代表組番号)場合にチェックを入れます。 自動的に受信動作を開始するまでの時間に差をつけ、エラーを抑えます。
FAX 原稿の最大用紙サイズ		受信可能な FAX 原稿の最大サイズを設定します。 ※デフォルトは「A3」サイズ

送受信原稿特殊設定		FAX 原稿の設定を行います。
送信時、A5 → A4、B5 → B4 横回転		FAX 原稿が A5、B5 サイズだった場合、原稿の向きを回転させて A4,B4 縦半分の原稿に変換し FAX 送信します。※送信時間を短縮できます。
送信時、白紙部分カット		白紙部分をカットして送信します。
送受信原稿をmm本位で扱う		チェックを入れると、FAX 原稿が「Pixel」単位ではなく、「mm」単位で扱われます。 FAX 通信時に発生する、伸縮による原稿のゆがみを防ぐことができます。 ※ファイン (200x200dpi) のときのみ有効です。 ※画質が低下する可能性があります。

モデム動作設定		FAX モデムの動作について設定します。
スピーカ音量		FAX モデムの音量を設定します。
スピーカ制御		FAX モデムの音の ON/OFF を指定します。
状況確認と回復設定		一定時間 FAX モデムを使用していないときや、FAX 通信中に動作が停止(エラーが発生)しているときに FAX モデムの初期化を行います。
モデム動作詳細設定		FAX モデムの詳細設定を行います。 ※変更するとエラーが発生する可能性があります。デフォルトの設定で使用してください。

⑨ [FAX モデム設定] の最下段にある [回線設定確認] をクリックすると、現在の回線設定を一覧で確認できます。



メールサーバー設定

STARFAX Server SDK が使用するメールサーバーを設定します。
メールへの転送、メール de FAX、動作状況メール通知機能を使用するときは、必ず設定してください。



- メールアカウントの設定内容については、システム管理者、もしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- メール de FAX 機能を使用するときは、STARFAX Server SDK で使用するメールアドレスが必要です。あらかじめ用意ください。
- 動作状況メール通知機能は、STARFAX Server SDK のサービスの開始・停止を指定したメールアドレスに通知する機能です。

→ 「STARFAX Server SDK の通知機能を使用する」 P30



①「STARFAX サービスマネージャー」の [メールサーバー設定] をクリックします。「メールサーバー設定」が表示されます。

② 使用するメールアカウントの情報を入力します。

③ 必要事項の設定ができたら、[OK] で終了します。



送信メール	STARFAX Server SDK から、メールを送信するための設定です。 STARFAX Server SDK が使用するメールアカウントの「SMTP サーバー」「ポート」「表示名・メールアドレス」を設定します。
送信メールの認証が必要	送信メールサーバーに認証の設定が必要な場合は、チェックを入れて設定を行います。
受信メール (POP3)	STARFAX Server SDK でメールを受信するための設定です。 STARFAX Server SDK が使用するアカウントの「POP サーバー」「ポート」「アカウント」「パスワード」を設定します。
タイムアウト	メールサーバーが応答するまでの最大時間を設定します。 設定した時間内にメールサーバーから応答が返ってこなかったときは、イベントログにエラーとして書き出されます。

STARFAX Server SDK のサービスを開始 / 停止する

開始する

STARFAX Server SDK のサービスを開始するには、STARFAX サービスマネージャーの [サービス開始] をクリックします。
サービスが開始されると「サービス開始中」の表示にかわります。

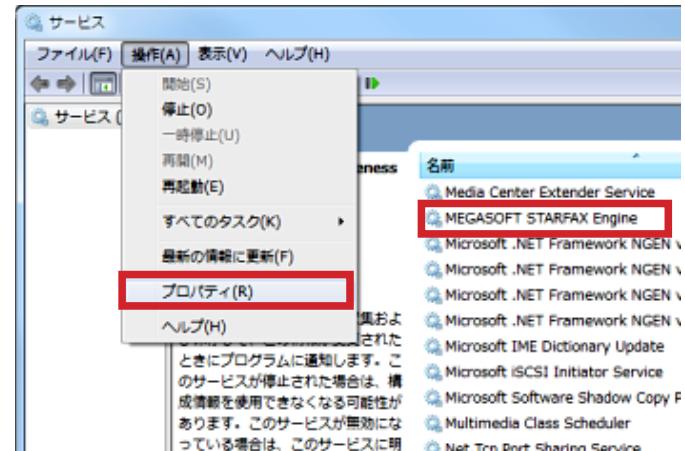
注意 「STARFAX Server SDK を開始できません」と表示される場合は、「ログ管理」の「イベント」情報を確認してください。
→「ログ管理を起動する」P22



Windows 起動時に自動的に開始する

パソコンを起動する際に、STARFAX Server SDK のサービスを自動的に開始することができます。
以下 Windows で設定を行ってください。

- ① Windows の「サービス」を表示します。
 - Windows Server 2008 / Server 2008 R2 / 7
Windows[スタート]-[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] をダブルクリックします。
 - Windows Server 2003 / Server 2003 R2 / Vista / XP
Windows[スタート]-[管理ツール]-[サービス] をクリックします。
- ② 「サービス」画面右枠内の「名前」一覧から「MEGASOFT STARFAX Server SDK」を選択し「操作」-「プロパティ」をクリックします。
- ③ 「スタートアップの種類」を「自動」に変更し、[適用]-[OK] をクリックします。



停止する

STARFAX Server SDK で使用するフォルダの変更や確認、モデム設定を行うには、STARFAX Server SDK のサービスを停止してください。

- ① STARFAX サービスマネージャーを表示して、[サービス停止] をクリックします。

メモ FAX 送信処理中にサービスを停止すると、送信処理は一旦中断され、未送信ログ内に追加されます。
次回サービス開始時には、中断された未送信 FAX から再度送信されます。

送受信ログ、未送信ログ、イベント情報を確認する

STARFAX Server SDK の送受信ログ、未送信ログ、エラーなどの各種イベント情報は「ログ管理」で確認できます。

ログ管理を起動する

- ① Windows[スタート]-[すべてのプログラム]-[STARFAX Server SDK]-[その他の機能]-[ログ管理] を選択します。
- ②「ログ管理」画面で、情報を参照します。

ログ管理画面について

[1] 更新 :

最新の情報を更新します。
ログ管理画面には、ログ管理プログラムを起動した時点の状況が表示されています。
最新の情報を確認するときには、このボタンをクリックしてください。

[2] 一覧のエクスポート :

選択したイベント、ログの一覧を CSV 形式で出力します。

[3] ビューア :

選択した送受信、未送信結果の原稿画像を、STARFAX ビューアで表示します。

[4] プロパティ

選択したイベント情報をプロパティ画面で表示します。

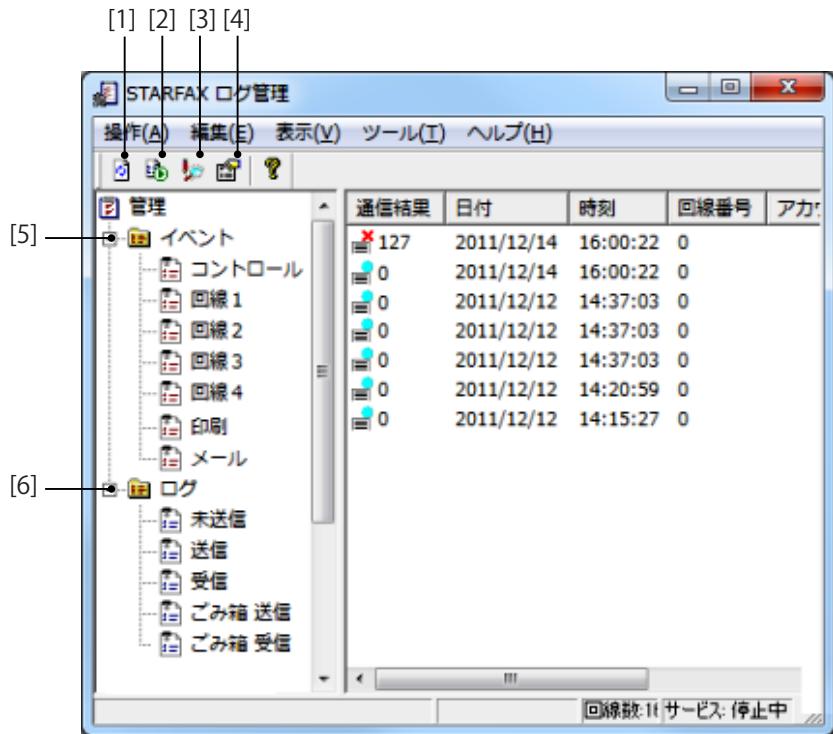
[5] イベント情報

回線、印刷、メール、その他機能（コントロール）で発生したイベント情報を管理します。
一覧に表示される内容は、下表を参照してください。

[6] ログ情報

送受信した結果と原稿、未送信の FAX 送信情報、削除した送受信結果と原稿情報を管理します。
確認したいログを選択します。

一覧に表示される内容は、次頁の表を参照してください。



[5] イベント情報の項目

ログ管理画面の左側で、「イベント」の回線番号や印刷、メールのいずれかを選択すると、使用している FAX モデムや各種機能などでエラーが発生したときの情報を確認できます。

種類	発生したイベントの種類を表示します。 ・エラー　・情報　・警告　・通知
日付	発生した日付を表示します。
時刻	発生した時刻を表示します。
説明	イベントの内容とエラーの原因を表示します。

[6] ログ情報の項目

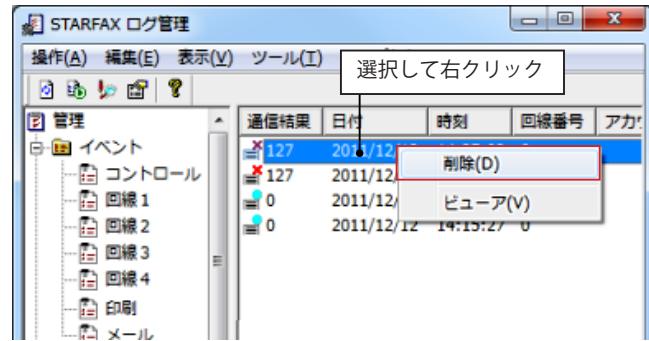
通信結果	<p>送信した結果を、表示します。</p> <p>●送受信結果 0 ----- 通信成功 127 ----- 通信失敗 3桁の数字はエラー番号</p> <p>●未送信 0 ----- 送信待ち 0 ----- 現在 FAX 送信中 3桁の数字は前回のエラー番号</p> <p>➡ エラー番号の一覧と詳細は、「通信結果の詳細」 P42</p>
日付	FAX 送信、受信した日付を表示します。 未送信ログでは、通常「0000/00/00」と表示され、送信日時を指定する「予約送信」を使用した場合のみ日付が入ります。
時刻	通信を開始(オフック)した時刻を表示します。
回線番号	通信で使用した回線を表示します。 ※回線番号は「FAX モデム設定」で設定した回線番号です。 ※回線 1 → 0 回線 2 → 1.. で表示されます。
アカウント	送信指示を出した、クライアントパソコンのコンピューター名を表示します。 ※グループ FAX 機能利用時の、送信ログと未送信ログのみ表示されます。
相手先	送信で使用した、相手先情報の「会社名」「氏名」「FAX 番号」の順に表示します。 「会社名」の入力がなく、「氏名」「FAX 番号」の入力があれば、「氏名」を表示します。 ※送信ログと未送信ログのみ表示されます。
FAX	相手先の FAX 番号を表示します。 受信結果では、FAX ID が表示されます。 ナンバーディスプレイオプションをご利用の際は、ナンバーディスプレイ情報が表示されます。
ファイル名	FAX 原稿ファイルのフルパスを表示します。
ページ数	原稿の総ページ数を表示します。(送付状含)
通信速度	送信した際の通信速度を表示します。 ※ G3 での最高速度は「14400bps」です。
通信時間	FAX 通信を開始(オフック)した時点から、通信を終了(オンフック)した時点までの時間を表示します。 ※送信時の通信時間には、ダイヤル、コール時間も含みます。
画品質	FAX 原稿の解像度を表示します。 ・スーパーファイン…200 × 400dpi ・ファイン…200 × 200dpi ・ノーマル…200 × 100dpi
用紙サイズ	FAX 原稿の用紙サイズを表示します。
回線指定	送信で使用する回線を指定した場合に、その回線番号を表示します。 ※回線番号は「FAX モデム設定」で設定した回線番号です。 ※ 0 → 回線 1 1 → 回線 2.. と表示されます
優先順位	送信の際に設定された優先度(0~15)を表示します。 通常は「8(標準)」が表示されます。 ※低 0 ← 優先度 → 15 高
リトライ回数	送信エラーが発生したときの、再送信した回数を表示します。

送受信、未送信ログを削除する

STARFAX Server SDK のログ情報は、手動で削除する方法と、保存しておく期間を設定して自動で削除する方法があります。削除したログはすべて STARFAX Server SDK の「ごみ箱」フォルダに移動します。

手動で削除する

- ① STARFAX サービスマネージャーから、[ログ管理] を選択し、ログ管理画面を表示します。
- ② [ログ管理] 画面の左枠内のログから削除したいログの分類（未送信／送信／受信／ごみ箱）を選択します。
- ③ 右側の一覧で削除したい結果を右クリックし、表示されたメニューから「削除」を選択します。
- ④ 「選択された送信情報を削除してよろしいですか？」の確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。
 - ・「未送信」ログは、削除すると「送信」ログに移動し、通信結果に「127」のエラー番号が表示されます。
 - ・「送信」「受信」ログは、削除すると「ごみ箱 送信」「ごみ箱 受信」に移動します。
 - ・ごみ箱に移動したログも、同じ操作で削除することができます。



ごみ箱内のログを削除すると、Windows の「ごみ箱」フォルダに移動することなく削除され、復元はできません。

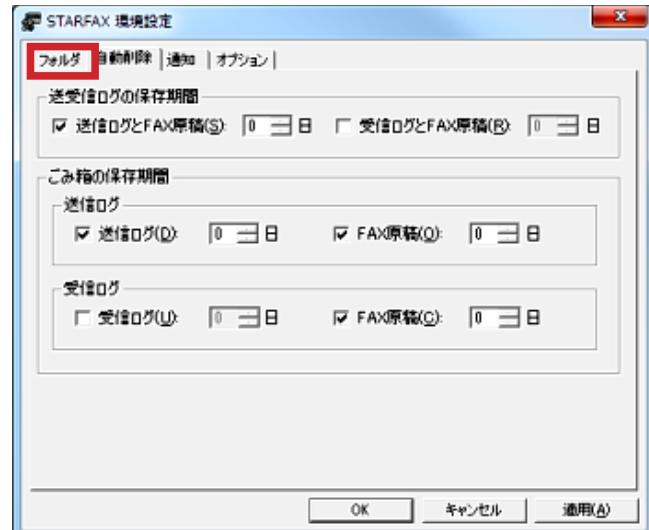
自動で削除する

保存しておく期間を設定して自動で削除することができます。



未送信ログは、自動削除できません。

- ① STARFAX サービスマネージャーから、[環境設定] を選択し、STARFAX 環境設定画面を表示します。
- ② 「自動削除」タブを開き、以下の表を参考に、各項目を設定します。



送受信ログの保存期間	自動削除したい項目にチェックをつけて、それぞれ保存しておく日数を設定します。 設定した日数が経過すると、ログ情報とその FAX 原稿が STARFAX Server SDK のごみ箱フォルダに移動します。 ※保存しておく日数の最大は、99 日までです。 ※「1 日」と設定すると、ログの通信時刻から 24 時間後に削除します。
ごみ箱の保存期間	自動削除したい項目にチェックをつけて、STARFAX Server SDK のごみ箱に移動して（ごみ箱送受信ログの「削除日付」）から、完全に削除するまでの日数をそれぞれ設定します。 ※保存しておく日数の最大は、99 日までです。

標準機能のための設定

送受信した FAX をメールで転送する

送受信した FAX 原稿を、自動的に指定した形式の画像ファイルに変換して、メールの添付ファイルとして転送することができます。

以下の手順で設定してください。

 メールへの転送機能を使用するには、事前にメールサーバー設定を行う必要があります。
メモ 「メールサーバー設定」 P20

① STARFAX サービスマネージャーから、[転送・印刷設定] をクリックして、転送・印刷画面を表示します。

② 「転送・印刷」画面の「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れて、「簡易設定」を選択します。

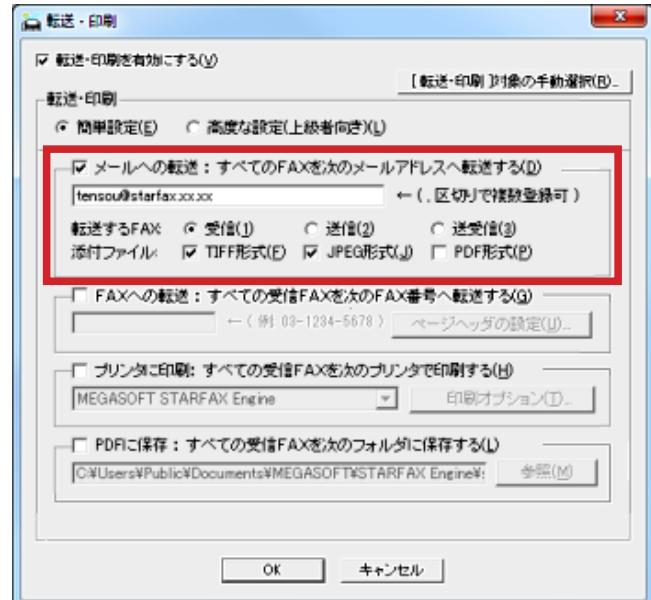
 回線や、相手先 FAXID ごとに設定するときは、「高度な設定（上級者向き）」を選択します。
メモ

③ 「メールへの転送：すべての FAX を次のメールアドレスへ転送する」にチェックを入れます。

④ FAX を転送するメールアドレス、転送する FAX の種類、添付する FAX 原稿のファイル形式を設定します。

 メールアドレスは「,(カンマ)」で区切って、複数指定できます。
・「添付ファイル」のチェックをすべて外すと、FAX 原稿は転送されずに、通信結果の日時などの情報のみメールで送信されます。

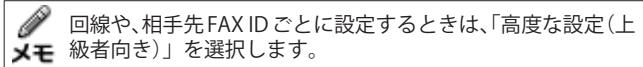
⑤ [OK] をクリックして、「転送・印刷」画面を閉じます。



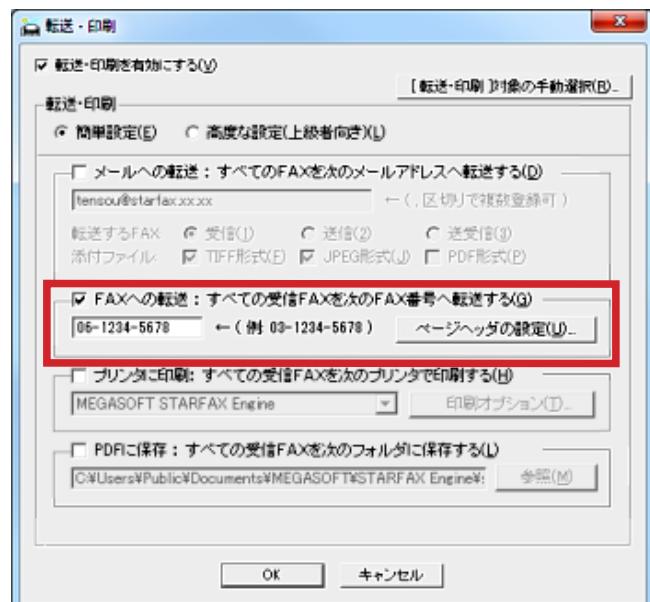
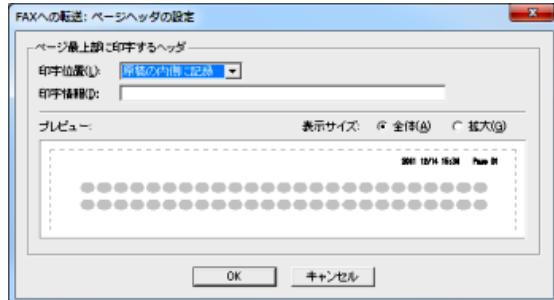
受信した FAX を別の FAX 番号に転送する

受信した FAX を自動的に、別の FAX に転送することができます。
以下の手順で設定してください。

- ① STARFAX サービスマネージャーから、[転送・印刷設定] をクリックして、転送・印刷画面を表示します。
- ② 「転送・印刷」画面の「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れて、「簡易設定」を選択します。



- ③ 「FAXへの転送：すべての受信FAXを次のFAX番号へ転送する」にチェックを入れ、転送先のFAX番号を入力します。
- ④ [ページヘッダの設定] をクリックし、表示されたダイアログで転送時のFAX原稿へのページヘッダ情報を変更します。



印字位置	ページヘッダーの印字する位置を設定します。
印字情報	ページヘッダーに印字する情報を入力します。 ※半角: 70 文字 全角: 35 文字まで入力可能

- ⑤ [OK] をクリックして、「FAXへの転送: ページヘッダの設定」と「転送・印刷」画面を閉じます。

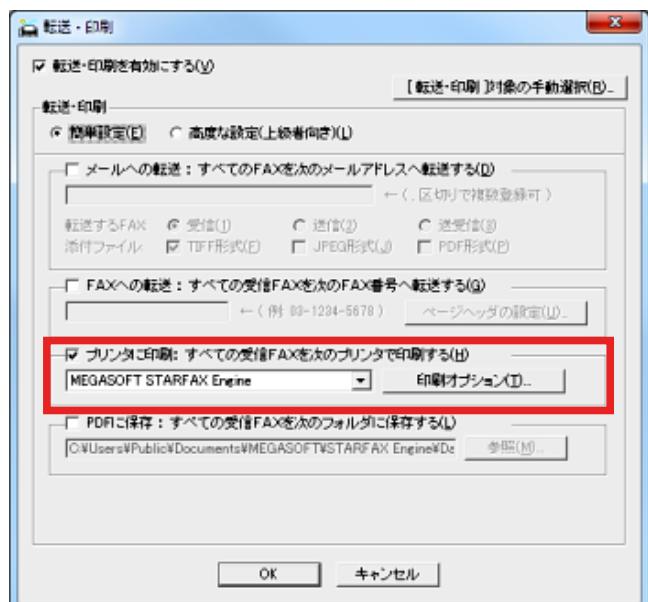
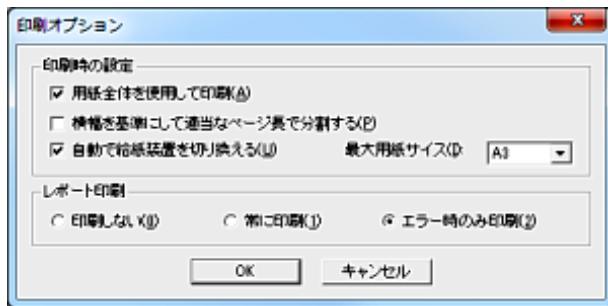
受信した FAX をプリンタで印刷する

受信した FAX を、指定したプリンタに印刷することができます。
以下の手順でプリンタと印刷に関する設定を行ってください。

- ① STARFAX サービスマネージャーから、[転送・印刷設定] をクリックして、転送・印刷画面を表示します。
- ② 「転送・印刷」画面の「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れて、「簡易設定」を選択します。

メモ 回線や、相手先 FAXID ごとに設定するときは、「高度な設定（上級者向き）」を選択します。

- ③ 「プリンタに印刷：すべての受信 FAX を次のプリンタで印刷する」にチェックを入れます。
- ④ プルダウンメニューから、印刷に使用するプリンターを選択します。
- ⑤ [印刷オプション] をクリックし、下記の項目を設定します。



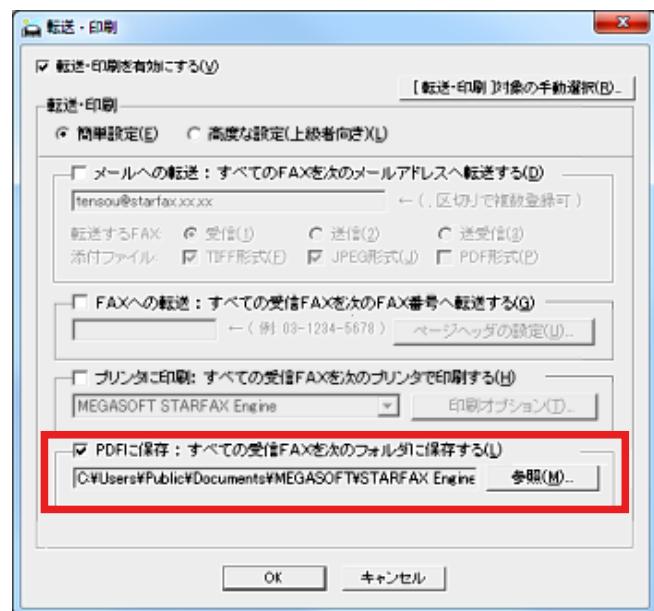
用紙全体を使用して印刷	プリンタ側で設定されている用紙サイズに合わせて、原稿を伸縮させて印刷します。
横幅を基準にして適当なページ長で分割する	受信原稿の 1 ページが既定の用紙サイズより長い（長尺 FAX）原稿を、プリンタで印刷する用紙サイズに合わせて分割します。
自動で給紙装置を切り換える	受信原稿の用紙サイズに合わせて印刷する用紙サイズを変更します。
レポート印刷	受信した FAX の結果（通信速度、エラー時はエラー番号と内容）を印刷するかどうかを設定します。

- ⑥ [OK] をクリックして、「印刷オプション」と「転送・印刷」画面を閉じます。

受信した FAX を PDF 形式に変換して、指定したフォルダに保存する

受信した FAX を自動的に PDF 形式に変換して、使用したフォルダに保存する機能です。

- ① STARFAX サービスマネージャーから、[転送・印刷設定] をクリックして、転送・印刷画面を表示します。
- ② 「転送・印刷」画面の「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れて、「簡易設定」を選択します。
- ③ 「PDF に保存：すべての受信 FAX を次のフォルダに保存する」にチェックを入れます。
- ④ [参照] をクリックし、保存先フォルダを指定します。
※ STARFAX Server SDK のフォルダ以外も指定できます。
- ⑤ [OK] をクリックして、「印刷オプション」を閉じます。



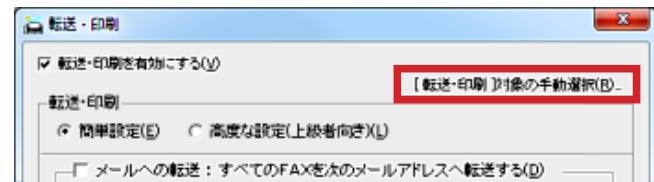
転送・印刷の再転送

設定されている転送・印刷が失敗したり、正常に実行できなかったりしたときに、手動で再転送することができます。

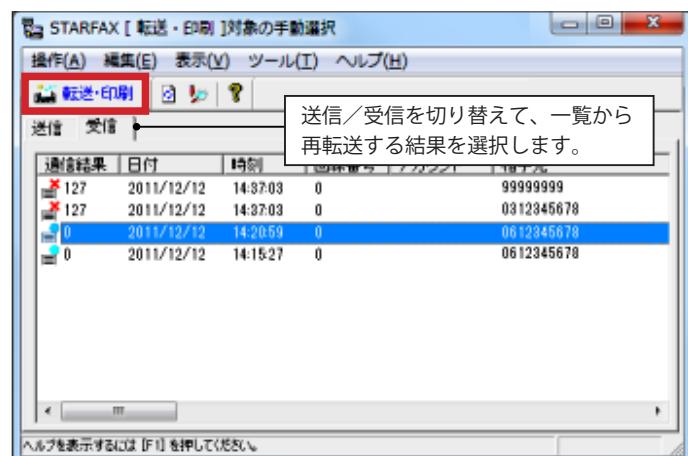


STARFAX Server SDK のサービスが動作中のみ操作できます。

- ① STARFAX サービスマネージャーから、[転送・印刷設定] をクリックして、転送・印刷画面を表示します。
- ② 「転送・印刷」画面の「転送・印刷を有効にする」にチェックを入れ、[[転送・印刷] 対象の手動選択] をクリックします。



- ③ 表示された画面で、一覧から再転送する結果を選択し、[転送・印刷] をクリックします。
- ④ [転送・印刷] 画面で設定されているとおり、転送または印刷が実行されます。



送受信原稿の確認・編集を行う

送受信原稿や画像の詳細情報の確認、原稿の向きの変更は、STARFAX Server SDK のビューアで行えます。

- ① Windows[スタート]-[すべてのプログラム]-[STARFAX Server SDK]-[その他の機能]-[ビューア] を選択して、ビューアを起動します。



- ・メニュー内に [ビューア] がないときは、セットアップしてください。
- ➡ ビューアのセットアップ P12
- ・各種管理画面の [ビューア] をクリックしても起動します。

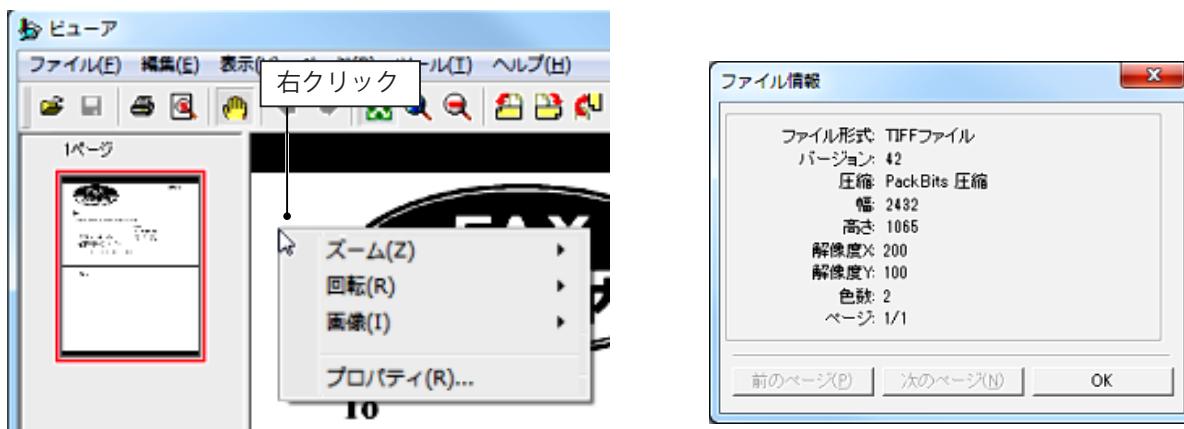
■ ビューアのツールバーのボタンの説明



[1] 開く	確認する原稿を指定し、開きます。
[2] 保存	開いた原稿を、変更した内容で上書き保存します。
[3] 印刷	開いた原稿を印刷します。
[4] 印刷プレビュー	現在のプリンタ設定で印刷を行ったときの印刷イメージを表示します。
[5] ページ送り	原稿が複数枚ある場合、前後のページに移動します。
[6] 拡大 / 縮小	画面の表示を変更します。 …現在のビューア枠に合わせて表示 …拡大表示 …縮小表示
[7] ページの回転	ページを回転して、原稿の向きを変更します。
[8] 色の反転	原稿の色を反転します。
[9] 表示切替	ビューアの表示状態を切り替えます。

■ FAX原稿の詳細情報を確認する

ビューアに表示されている原稿の上で右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択すると、詳細情報が表示されます。



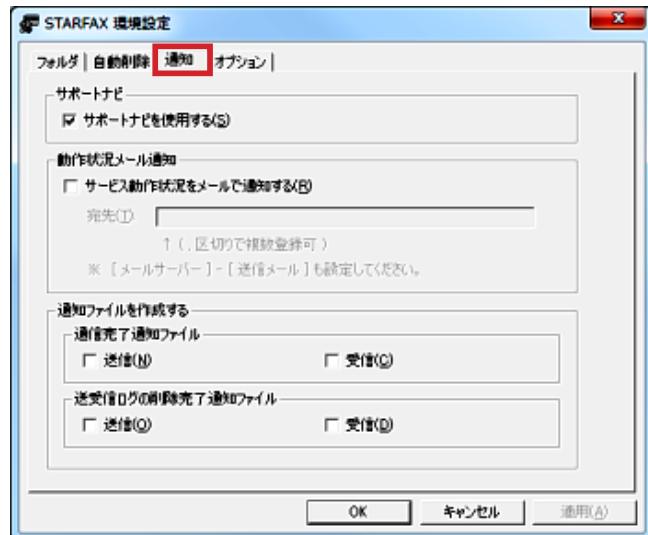
「幅」「高さ」は、ピクセル (pixel) 単位で表示しています。

STARFAX Server SDK の通知機能を使用する

STARFAX Server SDK の動作状況やエラー発生時の情報を知らせる「サポートナビ」ウィンドウや、STARFAX Server SDK の動作を通知するファイルの作成を設定します。

- ① STARFAX Server SDK サービスマネージャーから、[環境設定] をクリックして「STARFAX 環境設定」を開きます。
- ② 「STARFAX 環境設定」で「通知」タブを開き、下表を参考にそれぞれ設定します。

メモ 「動作状況メール通知」機能を使用するには、事前にメールサーバー設定を行なう必要があります。
→ 「メールサーバー設定」 P20



[1] サポートナビ	「サポートナビを使用する」にチェックを付けると、エラーの詳細を右図のような画面で確認できます。
[2] 動作状況メール通知	STARFAX Server SDK のサービスの動作状況をメールで通知します。 「サービス動作状況をメールで通知する」にチェックを付けて、「宛先」のメールアドレスを入力します。 メールアドレスは、「,」(半角カンマ)で区切って、複数指定できます。
[3] 通知ファイルを作成する	STARFAX Server SDK で送受信が完了したときや、送受信ログを削除したときに、特定のフォルダに通知ファイルを作成します。 クライアントプログラムなどで、これらの通知ファイルを利用して状況確認を行いたいときのみチェックを付けます。 → 「ファイル de F A X」マニュアル P14、P16 参照 注意 作成された各通知ファイルは、自動で削除されないため、手動で削除する必要があります。 通知ファイルが必要ない場合は、チェックをつけないでください。

STARFAX Server SDK のしくみ

STARFAX Server SDK の基本的な FAX 送信、FAX 受信の流れを説明します。

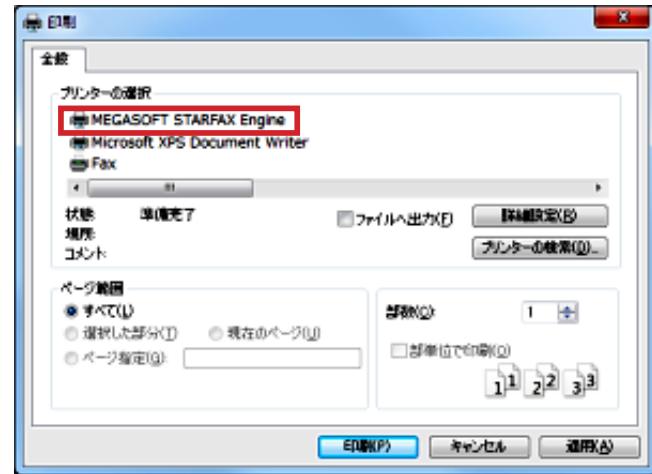
FAX 送信

STARFAX Server SDK は、FAX 原稿ファイルと送信先などを記述した「送信命令ファイル」を、STARFAX Server SDK が管理しているそれぞれのフォルダに保存することで FAX の送信が実行されます。

- ① STARFAX Server SDK のサービスを起動します。
- ② ワープロソフトや表計算ソフト、ユーザー-application で、FAX 原稿を作成します。
- ③ Application の印刷ダイアログの「プリンタ」で「MEGASOFT STARFAX Engine」を選択して印刷を実行すると、FAX 原稿が作成されます。
FAX 原稿は以下の場所に「SFEN_(作成日時).tif」で保存されます。

▼デフォルトの保存先

- 32bit 版 OS
C:\Program Files\MEGASOFT\STARFAX Engine Printer
- 64bit 版 OS
C:\Program Files (x86)\MEGASOFT\STARFAX Engine Printer



- ④ 「送信命令ファイル」を作成し、送信命令フォルダに保存します。
※ここでは、以下の名前で送信命令ファイルを作成します。

▼送信命令ファイルの記述例

(テキストエディタなどで以下のとおり入力してください)

```
[SendInfo]
Num=1
[Send1]
Fax=0699999999
[Doc]
Num=1
Name1="C:\Program Files (x86)\MEGASOFT\STARFAX Engine Printer\SFEN_2012011013000000.tif"
```

▼送信命令フォルダのデフォルト

お使いの OS により異なります。

< Windows 7 / Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\SENDMIS\S_sousintest.WSM

< Windows XP / Server 2003 / Server 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\SENDMIS\S_sousintest.WSM

▶ 送信命令ファイルのファイル形式について> 「ファイル de F A X」マニュアル P6 参照

 STARFAX Server SDK は、一定時間(5秒毎)に送信命令フォルダを参照しており、送信命令ファイルが保存されていたら、その内容をもとに FAX 送信を行います。

- ⑤送信が完了したら、STARFAX Server SDK は、「送信情報インデックスファイル」に送信が完了したという情報を追加します。セットアップ直後は「送信情報インデックスファイル」がありません。初めて送信を行ったときに STARFAX Server SDK が作成し、それ以降そのファイルに追加されます。

▼送信情報インデックスファイル

※お使いの OS によりフォルダ位置が異なります。

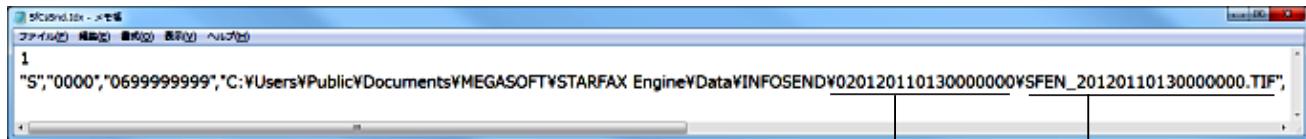
< Windows 7 / Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\INFOSEND\SFCsSend.Idx

< Windows XP / Server 2003 / Server 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\INFOSEND\SFCsSend.Idx

▶[送信情報インデックスファイルのファイル形式について] > 「ファイル de FAX」マニュアル P11



フォルダ名（＝ジョブ ID）

送信原稿の画像ファイル名

メモ STARFAX Server SDK の [環境設定] の「通知」タブで「完了通知」にチェックを入れると、以下のフォルダに「送信情報追加済み通知ファイル」が作成されます。

▼送信情報追加済み通知ファイル

※お使いの OS によりフォルダ位置が異なります。

< Windows 7 / Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\NOTICE\ADDSEND\AS_sousintest.WSM

< Windows XP / Server 2003 / Server 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\NOTICE\ADDSEND\AS_sousintest.WSM

▶[送信情報追加済み通知ファイルのファイル形式について] > 「ファイル de FAX」マニュアル P14

- ⑥送信が完了したかどうかは、「⑤」で更新・作成された「送信情報インデックスファイル」か、STARFAX Server SDK の「ログ管理」で確認できます。

※送信がうまくいかなかったとき

何らかの理由で FAX 送信がうまくいかなかったときは、「送信ログファイル」が更新されます。

▼送信ログファイル名

※お使いの OS によりフォルダ位置が異なります。

< Windows 7 / Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\INFOSEND\SFCsSend.Idx

< Windows XP / Server 2003 / Server 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\INFOSEND\SFCsSend.Idx

▶[送信結果ファイルのファイル形式について] > 「ファイル de FAX」マニュアル P11

送信ログのエラー番号一覧 > 「通信結果の詳細」 P42

メモ 転送や、原稿削除などもすべて指定フォルダ内のファイルの作成・更新・削除などにより行います。
詳しくは、「ファイル de FAX マニュアル」をご参照ください。

FAX 受信

STARFAX Server SDK は FAX を受信すると、受信した FAX 原稿をフォルダに保存し、所定のフォルダのファイルに情報を追加します。

ユーザーは、これらのファイルが更新されたり、新しく作成できているかをチェックしたりすることで、FAX 受信を確認することができます。

- ① FAX を受信すると、受信した FAX 原稿が「受信情報作成フォルダ」内に作成された「ジョブ ID」がついたフォルダに保存され、受信したという情報が「受信情報インデックスファイル」に追加されます。

また設定により、受信情報追加済み通知ファイルが作成されます。

▼受信情報作成フォルダ

※お使いの OS によりフォルダ位置が異なります。

< Windows 7 / Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Data\INFORECV

< Windows XP / Server 2003 / Server 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Data\INFORECV

 STARFAX Server SDK の [環境設定] の「通知」タブで「完了通知」にチェックを入れると、以下のフォルダに「受信情報追加済み通知ファイル」が作成されます。

▼受信情報追加済み通知ファイル

※お使いの OS によりフォルダ位置が異なります。

< Windows 7 / Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\NOTICE\ADDRECV\AS_sousintest.WSM

< Windows XP / Server 2003 / Server 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\NOTICE\ADDRECV\AS_sousintest.WSM

受信情報追加済み通知ファイルのファイル形式について>「ファイル de FAX」マニュアル P14

- ② 受信した FAX があるかどうかは、上記ファイルの存在とその内容か、STARFAX Server SDK ログ管理で確認できます。

※ログ管理画面の「受信」には、受信情報インデックスファイルの内容が表示されます。

ログ管理画面については、「送受信ログ、未送信ログ、イベント情報を確認する」 P22 参照

※受信がうまくいかなかったとき

何らかの理由で FAX 受信がうまくいかなかったときは、以下のファイルが更新されます。

▼受信ログ

※お使いの OS によりフォルダ位置が異なります。

< Windows 7 / Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 >

C:\Users\Public\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\INFORCV\SFCsRCV.Idx

< Windows XP / Server 2003 / Server 2003 R2 >

C:\Documents and Settings\All Users\Documents\MEGASOFT\STARFAX Engine\Ctrl\INFORCV\SFCsRCV.Idx

受信情報インデックスファイルのファイル形式について>「ファイル de FAX」マニュアル P11

受信ログのエラー番号一覧「通信結果の詳細」 P42



フォルダ名 (=ジョブ ID)

受信原稿の画像ファイル名

メンテナンス

アップデート

アップデートすることにより、STARFAX Server SDK を機能アップや不具合修正された最新の状態にすることができます。定期的にアップデートすることで、より安定した最新の STARFAX Server SDK をご使用いただけます。

注意 アップデートを行う前には、STARFAX Server SDK のサービスを停止し、STARFAX Server SDK 関連のアプリケーションをすべて終了させてください。

- ① お使いのブラウザで下記 URL のページを表示します。
http://www.megasoft.co.jp/update/starfax/download_STARFAX_Server_SDK.html
- ②「更新方法」の [ダウンロードする] をクリックします。
 [保存] または [対象をファイルに保存] を選択して、ダウンロードを開始します。
- ③ STARFAX Server SDK のサービスが停止していることを確認し、「②」でダウンロードしたファイルをダブルクリックして実行します。
 以降は、画面の指示に従って、アップデートを行ってください。

アンインストール

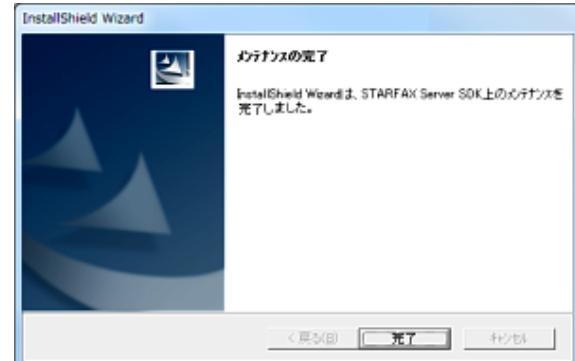
STARFAX Server SDK のプログラムを削除します。

注意 ・アンインストールは、Administrator 権限を持つユーザーでログオンしてから行ってください。
 ・アンインストールを行う前に、STARFAX Server SDK のサービスを停止し、STARFAX Server SDK 関連のアプリケーションを終了させてください。

- ① Windows[スタート]-[すべてのプログラム]-[STARFAX Server SDK]-[その他の機能]-[STARFAX のアンインストール] を選択します。
 - ② STARFAX Server SDK の送受信データを残す場合は「送受信の記録を残す」にチェックをつけます。
- メモ** お使いのパソコンを変更するなどの理由でアンインストールすると
きは、データ引継ぎのために送受信記録を残すことをお勧めします。
- ③ [はい] をクリックしてアンインストールを実行します。



- ④ 「メンテナンスの完了」が表示されたら、[完了] をクリックします。



サポートサービス / ユーザー登録について

サポートサービスについて

使用中にエラーなどのトラブルが発生した場合や、製品の機能についてのご質問、使い方がわからない場合などに、サポートサービスを提供しております。

サポートサービスを利用するには、「年間サポートライセンス」が必要です。

詳細は下記 URL のページをご参照ください。

http://www.megasoft.co.jp/sf_sdk/price.html

サポートサービスを利用する前に

・サポートサービスをご利用いただけるのは、STARFAX Server SDK をご利用の「エンドユーザー」と、STARFAX Server SDK の購入時にご記入いただいた「サポートサービスの代理授權者」です。

・「サポートサービスの代理授權者」のお届けがない場合は、「エンドユーザー（許諾対象者）」のみがサポートサービスの対象者となりますので、ご注意ください。

※詳細は STARFAX Server SDK 同梱の「使用許諾契約書」を参照してください。

サポート対象外のご質問・お問い合わせについて

以下の内容のご質問・お問い合わせは対象外のため、回答することができません。
あらかじめご了承ください。

- ・本製品で保障している動作環境以外でのお問い合わせ
- ・他製品に関する部分のお問い合わせ
- ・サポート時間外および出張を伴うサポートの依頼
- ・お客様の直接お持込によるサポート依頼
- ・その他、各種マニュアルやヘルプ、ホームページでサポート対象外と記述されている機能

サポートサービスを利用する

お問い合わせの前に

サポートセンターへお問い合わせの前に、下記の情報を参考に操作手順や操作画面をもう一度ご確認ください。

■製品の機能や操作がわからないとき

弊社が提供しているサポート情報などをご参照ください。

- STARFAX Server SDK セットアップマニュアル（本書）

- STARFAX Server SDK のサポート情報

Windows[スタート]-[すべてのプログラム]-[STARFAX Server SDK]-[マニュアル & Web ページ]-[サポート情報ページへ]

■エラー、トラブルが発生したとき

- STARFAX Server SDK のイベントログを参照、エラー内容をご確認の上、サポート情報などをご参照ください。

➡ 「送受信、未送信ログ、イベント情報を確認する」P22

- 最新の状態にアップデートしてください。

➡ 「アップデート」 P34

サポートセンターに問い合わせる

ご質問・お問い合わせは下記「サポート調査依頼フォーム」からお問い合わせください。

インターネットをご利用になれない環境の場合などは、本書巻末の調査依頼書に必要事項をご記入の上、FAX でお問い合わせいただくことも可能です。

・「サポート調査依頼フォーム」からのお問い合わせ

以下リンク先の専用フォームよりお問い合わせください。

動作環境やご利用状況によりご案内の内容が異なる場合がありますので、お手数ですが、すべてできるだけ詳しく正確にご記入ください。

https://www.megasoft.co.jp/cgi-bin/support/starfax_eng/cgi/form.pl

・「FAX」でのお問い合わせ

調査依頼書（サポート申込書）に必須事項を記入し、サポートセンターまでお送りください。

▼調査依頼書（サポート申込書）の保存場所

Windows[スタート]-[すべてのプログラム]-[STARFAX Server SDK]-[マニュアル & Web ページ]

▼送信先 FAX 番号

FAX : 06-6147-2764

※ FAX は 24 時間受け付けております。

※お問い合わせへの回答はサポートセンター稼動時間内に順次対応させていただきます。

ユーザー登録の確認 / 変更について

STARFAX Server SDK の購入時にご記載いただいた、ユーザー登録シートの内容でユーザー登録を行っております。

住所や電話番号、ご担当者などご登録内容に変更が生じた場合は、巻末の「ユーザー登録変更届」をコピーして必要事項を記入の上、FAX または郵送でお送りください。

※聞き間違いによるトラブルを防ぐため、お電話によるユーザー登録及び登録内容の変更は受け付けておりませんので、ご了承ください。

登録内容確認のお問い合わせについて

お客様のライセンスキー、登録内容をお調べするサービスを行っています。

▼お問い合わせ先

- メガソフト インフォメーションセンター
TEL : 06-6147-2780 FAX : 06-6131-5081

- メガソフト ホームページ

<http://www.megasoft.co.jp/entry/>

※インターネットでの登録内容調査サービスは、プライバシー保護のため返信を自動化しておりません。

そのため返信に時間がかかる場合があります。ご了承ください。



お電話でのお問い合わせの際は、ご本人様確認のためご登録の「会社名」「担当者名」「電話番号」「住所」のうちの 3 点をお伺いしております。

ライセンスキー ID のお問い合わせは、伝え間違いのないようにご登録のメールアドレスまたは FAX へご連絡いたします。

付録

STARFAX Server SDK で使用するファイル形式

原稿ファイル

STARFAX Server SDK で扱う FAX 送受信の原稿と、ビューアで参照できるファイル形式です。
受信原稿は、Tiff(PackBits 圧縮) ファイルで保存します。
送信原稿は、以下のファイル形式を、直接原稿として指定できます。

●利用できるファイル形式

- TIFF
 - PackBits 圧縮 ※ STARFAX で主に使用している形式です。
 - 圧縮無
 - 修正 CCITT MH 圧縮
 - CCITT G3 MH 圧縮
 - CCITT G3 MR 圧縮
 - Class F
 - G4 圧縮
 - JPEG 圧縮
- BMP
- PCX
- DCX
- JPEG
- TXT



メモ STARFAX Server SDK のプリンタドライバを使用して、アプリケーションから「印刷」すると、「.TIFF(PackBits 圧縮)」ファイルに変換することができます。

➡ 「プリンタドライバのインストール」 P11
「プリンタドライバとビューア」マニュアル参照

動作を指定するファイル

Windows で使用されている、アプリケーションソフトなどの設定を記録したファイルです。
STARFAX Server SDK では、動作を指示するファイルとして INI ファイルを採用しています。

● 使用しているファイル

起動情報.....	SfCsRun.inf
送信命令ファイル.....	S*.WSM
印刷命令ファイル.....	PD*.WSM
メール送信命令ファイル.....	SD*.WSM
送信情報削除命令ファイル.....	DS*.WMS
受信情報削除命令ファイル.....	DR*.WSM
未送信情報削除命令ファイル.....	DQ*.WSM
送信情報削除済み通知ファイル.....	DS*.WSM
受信情報削除済み通知ファイル.....	DR*.WSM
環境設定ファイル.....	SfCsEnv.ini



送信情報削除済み通知ファイル、受信情報削除済み通知ファイルは、
STARFAX Server SDK の [環境設定] の「オプション」 - 「通知ファイル」
にチェックを入れると作成されます。

→ 「ファイル de FAX」マニュアル P16 参照

▼ 入力例

```
[SendInfo]
Num=1
[Send1]
Fax=0699999999
[Doc]
Num=1
Name="C:\genko.jpg"
```



ファイルの内容は、メモ帳などで編集できます。

ログ情報、通知ファイル

データをカンマ (,) で区切って並べた CSV ファイル形式です。
STARFAX Server SDK では、先頭に、ファイルに含まれるデータのレコード数を先頭に記載しています。
他のレコードはデータごとにダブルコーテーション ("") で囲みます。

● 使用しているファイル

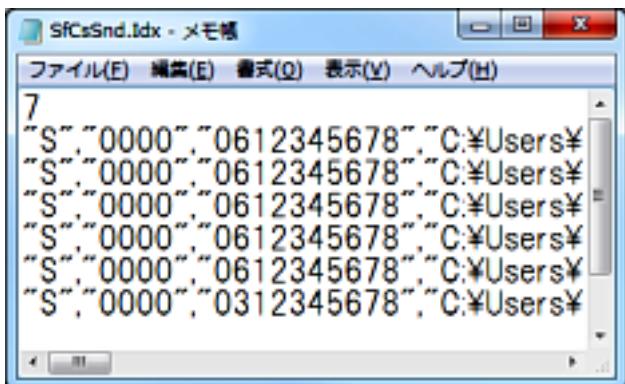
送信情報インデックスファイル.....	SFCsSend.Idx
受信情報インデックスファイル.....	SFCsRcv.Idx
未送信情報インデックスファイル.....	SFCsQue.Idx
送信情報追加済み通知ファイル.....	AS*.WSM
受信情報追加済み通知ファイル.....	AR*.WSM



送信情報追加済み通知ファイル、受信情報追加済み通知ファイルは、
STARFAX Server SDK の [環境設定] の「オプション」 - 「通知ファイル」
にチェックを入れると作成されます。

→ 「ファイル de FAX」マニュアル P14 参照

▼ 表示例



ファイルの内容は、メモ帳などで編集できます。

STARFAX Server SDK のフォルダ構成

STARFAX Server SDK の作業フォルダは、大きく以下の 3 つのフォルダを使用します。

コントロールフォルダ

FAX 送受信のインデックスファイルや、ユーザープログラムからの動作命令ファイルを書き込むフォルダです。

「コントロールフォルダ」は STARFAX Server SDK の [環境設定] から保存場所を変更できます。
メモ 「使用するフォルダを確認する」 P15

Ctrl

- INFOSEND… 送信情報作成フォルダ
 - DELMIS… 送信情報削除命令フォルダ
- INFORECV… 受信情報作成フォルダ
 - DELMIS… 受信情報削除命令フォルダ
- INFOQUE… 未送信情報作成フォルダ
 - DELMIS… 未送信情報削除命令フォルダ
- SENDMIS… 送信命令フォルダ
- PRTMIS… 印刷命令フォルダ
- EMSMIS… メール送信命令フォルダ
- NOTICE… 通信情報フォルダ
 - ADDSEND… 送信情報追加済み通知フォルダ
 - ADDRECV… 受信情報追加済み通知フォルダ
 - DELSEND… 送信情報削除済み通知フォルダ
 - DELRECV… 受信情報削除済み通知フォルダ



フォルダ一覧に記載していないフォルダは STARFAX Server SDK が動作するうえで必要なフォルダです。ユーザープログラムからのアクセス・変更などは行わないでください。



通知フォルダは、STARFAX Server SDK の [環境設定]-「通知」の「通知ファイルを作成する」にチェックを入れると各フォルダ内にファイルが作成されます。

「STARFAX Server SDK の通知機能を使用する」 P30

データフォルダ

FAX 送受信のインデックスファイルと関連付けられた FAX 原稿のファイルが保存されます。

「データフォルダ」は STARFAX Server SDK の [環境設定] から保存場所を確認・変更できます。
メモ 「使用するフォルダを確認する」 P15

Data

- INFOSEND… 送信情報作成フォルダ
 - LYYYYMMDDHHMMSSMMM… ジョブ ID フォルダ
- INFORECV… 受信情報作成フォルダ
 - LYYYYMMDDHHMMSSMMM… ジョブ ID フォルダ
- INFOQUE… 未送信情報作成フォルダ
 - LYYYYMMDDHHMMSSMMM… ジョブ ID フォルダ



フォルダ一覧に記載していないフォルダは STARFAX Server SDK が動作するうえで必要なフォルダです。ユーザープログラムからのアクセス・変更などは行わないでください。



ジョブ ID フォルダ名は 18 術の数字で構成されます。
 L = 通信に使用した回線番号
 YYYY = 年 MM = 月
 DD = 日 HH = 時
 MM = 分 SS = 秒
 MMM = ミリ秒

システムフォルダ

STARFAX Server SDK を使用するときに必要なデータやファイル、ごみ箱フォルダが保存されます。
ごみ箱フォルダ以外のフォルダやファイルは、ユーザープログラムからのアクセス・変更などはしないでください。

 「ごみ箱」の保存場所は STARFAX Server SDK の [環境設定] から確認・変更できます。
メモ → 「使用するフォルダを確認する」 P15

Sys

-  TxData… 送信原稿フォルダ
 LYYYYMMDDHHMMSSMMM… ジョブ ID フォルダ
-  RxData… 受信原稿フォルダ
 LYYYYMMDDHHMMSSMMM… ジョブ ID フォルダ
-  TxDust… 送信ごみ箱フォルダ
 LYYYYMMDDHHMMSSMMM… ジョブ ID フォルダ
-  RxDust… 受信ごみ箱フォルダ
 LYYYYMMDDHHMMSSMMM… ジョブ ID フォルダ

 ジョブ ID フォルダ名は 18 術の数字で構成されます。
L = 通信に使用した回線番号
YYYY= 年 MM= 月
DD= 日 HH = 時
MM= 分 SS= 秒
MMM= ミリ秒

レジストリ

STARFAX Server SDK をセットアップした際のレジストリ情報です。

■レジストリキー

- 32bit 版 OS
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Megasoft\SfCs
- 64bit 版 OS
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Megasoft\SfCs

●値

STARFAX Server SDK のフォルダ関連

- CTRL Folder コントロールフォルダ
- DATA Folder データフォルダ
- SFCS Folder システムフォルダ

●プリンタ関連

- OutFolder
プリンタドライバで作成した Tiff ファイルを保存するフォルダ
※この値を変更すると、作成した Tiff ファイルの保存先が変更されます。
- DocName
ドキュメント名
プリンターを使用して作成した原稿のファイル名の最初に追加されます。
「ドキュメント名」 + 「_」 + 「YYYYMMDDHHMMSSMMM」.tif
※デフォルトでは、ドキュメント名は「SFEN」が設定されます。



YYYY MM DD HH MM SS MMM
メモ 年 月 日 時 分 秒 ミリ秒

通信結果の詳細

以下は、送受信、未送信ログに表示される、通信結果番号とその詳細です。

通信結果番号が「0」以外は何らかの問題が発生しています。以下の表を参考にご対応ください。

通信結果	詳細
0	正常に終了しました。
1	パラメータが違います。
2	ファイルが見つかりません。
3	ファイルを読み込めません。
4	ファイルを書き込めません。
5	ファイルにデータがありません。
6	FAX ファイルではありません。
7	ファイルを作成できません。
8	メモリ不足です。
10	ディスクがいっぱいです。
11	Tiff ファイルではありません。
12	Tiff ファイルで TAG の読み込みに失敗しました。
13	サポートできない TIFF ファイルです。(圧縮形式を確認してください)
16	電話番号が見つかりません。
17	電話帳ファイルを読み込めません。
18	電話番号が異常です。
20	ディスクがいっぱいです。
32	FAX 端子がありません。
33	トーン検出機能がありません。
48	相手機にファインモードがありませんでした。
49	相手機がデータ通信できない機種です。
50	呼び出し信号が検出できません。
51	着信処理は終了しました。
100	フォントファイルが見つかりません。(ファイルがオープンできません)
123	FAX ドライバーが組み込まれていません。
126 128	FAX ドライバーの内部処理エラーです。
127	処理は中断されました。
129	回線が接続されていません。
130 131	モデムがオフフックしているので電話のフック状態チェックができません。
132	回線が他の機器によって使用中です。
134	発信音を検出できません。(受話器をあげてもブーという音がしていません) 回線の接続に誤りがないかご確認ください。
135	第 2 ダイヤルトーンを検出できません。
136	ダイヤル前に呼び出し音を検出しました。しばらく時間をおいて送信をしてください。 ※送信設定で「再試行」が設定されている場合は、再送信されます。
161	アプリケーションから要求または応答がきませんでした。(タイムアウト)
177	DIS または DTC を受信できませんでした。
178	TCF 送出後の応答がありません。
179	TCF 送出後、無効な応答を受信しました。

通信結果	詳細
180	相手機が TCF を受け付けません。
181 182	メッセージ送出後、正常な応答がありません。
183	電話接続後の継続ができませんでした。
184	応答信号を受信できません。 回線状況がよくない、相手ファクシミリとの相性が悪い等の原因が考えられます。
185	命令信号を受信できません。
186	無効な命令を受信しました。
187	通信処理を通信中断要求により中断しました。
188	相手機がオペレータの介在を要求してきました。
189	度重なるデータエラーにより、通信できませんでした。
190	度重なるデータエラーで相手機が送信をあきらめました。
193 194	データ通信速度がコンパチブルではありません。
195 196	相手機が送信、または受信指定されていません。
197	バイナリデータ転送の指定がされていますが、相手機が対応していません。
199 200	メッセージの通信でデータ転送が間に合いませんでした。
201	メッセージの受信で 1 走査線あたりのデータが確定しませんでした。
202	メッセージの受信で RTC 受信前にメッセージキャリアが消滅しました。
203	メッセージデータの受信を開始できませんでした (T2 がタイムアップしました)。
209	応答信号受信中にフレームの受信ができず、信号キャリアが消えませんでした。
210	応答信号受信中にデータエラーがあり、信号キャリアが消えませんでした。
211	応答信号受信中に切断信号を受信しました。
212	命令信号受信中にフレームの受信ができず、信号キャリアが消えませんでした。
213	命令信号受信中にデータエラーがあり、信号キャリアが消えませんでした。
214	命令信号受信中に切断信号を受信しました。
215 264	TCF 送信中に送信または受信抜けエラーがありました。
217	TCF 受信で受信データにエラーが多くありました。
218	不要なキャリアがあり信号を送出できませんでした。
219 220	CTC 送出後、正常な応答がありません。
221 222	RR 送出後に正常な応答がありません。
223	T5 がタイムアップしました。(相手機がレディになりませんでした)
224 225	EOR 送出後、正常な応答がありません。
226	RNR 送出後、無効な応答を受信しました。
248	命令信号が受信できませんでした。送信時は、FAX 番号に誤りがないか確認してください。 回線の接続に誤りがないかを確認してください。
249	TCF 送出後 CFR を受信できませんでした。
252	ダイヤルできませんでした。しばらく時間をおいて送信をしてください。 ※送信設定で「再試行」が設定されている場合は、再送信されます。
253	モデムとの通信ができません。
254	相手先が無応答です。FAX 番号に誤りがないか確認してください。 相手先がファクシミリでない可能性があります。
255	話し中です。しばらく時間をおいて送信をしてください。 ※送信設定で「再試行」が設定されている場合は、再送信されます。
300	回線指定に誤りがあります。